

名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会
平成24年度 エネルギーに関する文理融合研究合同成果報告会
第8回 名大発一省エネ推進と地球温暖化防止

名古屋大学では、2014年末までに二酸化炭素排出量を2005年比で20%以上削減するという目標に向けて、全学の構成員が省エネの努力を続けてきています。特に本年度は、一昨年の東日本大震災と福島原子力発電所事故の影響による日本各地の原子力発電所の休止に伴う電力供給の逼迫を背景に、政府から電力消費の削減努力の要請がありました。それを受け、名古屋大学では、夏期には2010年比5%以上の電力削減目標を定め、電力のリアルタイム見える化、全学構成員によるメールによる電力消費情報配信、消費電力上昇時のブロック毎の空調機一旦停止、空調機消し忘れ防止対策等、様々な工夫を取り入れ研究教育の活力を維持しつつも全学的省エネを一層強化してまいりました。又、電力需要の第2のピークである冬期にも、電力削減目標を3%以上と定め省エネルギーに取り組んでいます。

今年で8回目を迎える研究成果報告会では、大学の教育研究の成果を背景にして省エネ・二酸化炭素削減を考えるエネルギーマネジメント研究・検討会（EM研）の活動を始め、大学というコミュニティの構成員である学生・職員による多様な活動を報告し、参加の皆様と共に、社会の二酸化炭素削減の具体的施策を考えていきます。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：平成25年3月8日（金） 13:00-17:00

会場：名古屋大学IB電子情報館大講義室

【交通案内】 地下鉄名城線名古屋大学駅

研究成果報告：エネルギーマネジメント研究・検討会

【 プ ロ グ ラ ム 】

13:00—	報告会開催にあたって 「大学等における実験・研究に関する 省エネルギー実証事業について」 「名古屋大学の省エネ活動:EM研と省エネWG」 「ESCO・空調集中制御等省エネ検証について」 「この夏の省エネ対策と成果」	竹下 典行 (施設・安全担当理事) 中西 幸博 (文部科学省大臣官房文教施設 企画部参事官付参事官補佐)
	「室内における節電への取り組みと効果」 「省エネ行動を促すための情報提示手法 (エコトピア科学研究所共同研究成果)」 「スマートキャンパスにむけて」	恒川 和久 (施設整備推進室) 佐野 立明 (施設管理課) 近藤 優 (施設管理課)
	閉会の辞	吉田 友紀子 (環境学研究科) 竹橋 洋毅 (東京未来大学) 奥宮 正哉 (環境学研究科) 井上 康彦 (施設管理課)

報告会終了後、17:20よりレストラン ユニバーサルクラブで《意見交換会》を開催します。

主催：名古屋大学エネルギーマネジメント研究・検討会

申込先：名古屋大学施設管理部施設企画課総務掛 白木 sis-sou@post.jimu.nagoya-u.ac.jp